

# 新・船越生涯学習交流館建設基本計画案

## I 新・船越生涯学習交流館の概要

### 1 敷地の条件

- (1) 用途地域 第一種低層住居専用地域
- (2) 防火地域 指定なし
- (3) 建ぺい率 40%
- (4) 容積率 60%
- (5) 建設地 清水区船越三丁目地内（現船越生涯学習交流館敷地）  
※別紙「建設地案内図」参照
- (6) 敷地面積 1,500 m<sup>2</sup>程度

### 2 建物の概要

- (1) 施設の延べ床面積 650 m<sup>2</sup>程度
- (2) 主要構造・階数 鉄骨造2階建
- (3) 諸 室 事務室、会議室、多目的ホール、工作室、音楽室、調理室、和室、図書室等

### 3 その他

- (1) 対象エリア 船越地区
- (2) 対象人口 11,733人（令和2年12月末時点）
- (3) 想定利用者数 23,884人（令和元年度実績）
- (4) 休館期間 令和4年4月から令和6年3月
- (5) 工事期間 令和4年10月から令和6年2月
- (6) 開館予定日 令和6年4月
- (7) その他
  - ・災害時は「清水区災害対策本部船越地区支部」となり、風水害時には「風水害緊急避難場所」となる予定です。
  - ・スケジュールは現時点での予定となります。
  - ・休館期間中の事務機能については代替施設にて継続し、主催事業等は近隣の生涯学習施設にて開催する予定です。

## Ⅱ 新・船越生涯学習交流館建設基本計画案について

### 1 基本計画案策定の経緯

現在の船越生涯学習交流館（昭和48年度建設。以下「船越交流館」という）は耐震性能が不足しているため（ランクⅢ）、利用者の安全確保及び、災害時に地域の防災拠点としての機能を維持するため建て替えをすることになりました。

本基本計画の策定にあたっては、令和元年6月から令和2年3月にかけて、船越地区代表者及び交流館利用団体代表者等からなる「船越生涯学習交流館建設事業市民ワークショップ」を計5回にわたり実施し、検討を行ってまいりました。

本基本計画案は、ワークショップでの検討結果をもとに作成したものです。

### 2 コンセプト

#### 『富士山を望み 誰もが学びふれあいができる交流館』

船越交流館の立地特性である富士山の眺望を「強み」とし、またユニバーサルデザインを取り入れた、安心・安全で使いやすく、何度も行きたくなるような魅力のある施設づくりを目指します。

### 3 整備方針

#### (1) 富士山や公園の眺望を活かした施設

富士山や船越堤の池や桜の眺望などを活かし、地域の自然や魅力を感じながら学ぶことのできる施設を目指す。

- (例)・眺望の良い方角に建物を向ける
  - ・眺望を活かせる位置に建物を配置する
  - ・各諸室に大きな窓等を設置する など

#### (2) 色々な人と人との出会いと交流のある施設

地域で生活し活動する様々な人が、世代間の対話や活動などの交流を通じて、豊かな関係を築くことができる施設を目指す。

- (例)・利用者の活動の発表のための展示等ができるスペースを設ける
  - ・施設に訪れた人々が、自由に利用し交流できるスペースを設ける など

#### (3) 誰もが利用したくなる、多様な利用ができる施設

船越地区住民を中心に誰もが行ってみたいくなる、使ってみたくなるような明るい雰囲気作りを行うとともに、多様な利用者のニーズに対応できる施設を目指す。

- (例)・採光や内外装の色彩により、明るく親しみのある空間とする
  - ・会議室と工作室の兼用等、一つの部屋を様々な用途で利用できるようにする

- ・利用団体の規模に応じて、部屋の広さを調整（間仕切り）できるようにする  
など

#### (4) 人や環境にやさしく、安心・安全な施設

省エネなど地球環境への配慮がなされ、耐久性が確保された誰もが安心・安全に利用できる施設を目指す。

- (例)・開口部遮熱・断熱、高効率空調、高効率照明を導入する
- ・自然通風や採光を有効利用し、空調や照明の過度な使用を抑える
  - ・耐震性能を確保し、また耐久性や堅牢性高い材料や設備機器を選定する
  - ・新型コロナウイルスなどの感染防止対策として、非接触型自動ドアや、必要換気量を満たした機械換気設備を導入する
- など

### Ⅲ 施設内容

#### 1 敷地内配置について ※別紙「敷地内配置イメージ図」参照

建設地は、不整形な敷地形状に加え、傾斜や高低差のある土地であるため、既存の配置を参考にし、敷地を最大限有効に活用できるよう検討しました。建物は富士山や船越堤の桜の眺望を活かすため、敷地内でも標高の高い位置に配置し、また東西方向に広く面した長方形の建物としました。駐車場は人工地盤部分を設置し、地下部分を含め25台程度確保できるよう配置しました。

#### 2 館内配置について ※別紙「館内配置イメージ図」参照

コンセプトに基づき、来館者の交流が図られるとともに、多様な生涯学習活動や地域の活動に対応できるような配置を心掛けました。ワークショップの中で提案された様々なプランの中から、多目的ホールの配置により特徴の異なる2つの案を基本計画案として検討していくこととしました。各案の特徴は次のとおりです。

##### (1) 配置案①

一番面積の大きい多目的ホールを2階に配置することで、各諸室がバランスよく配置されるとともに、敷地形状にあった建物となり、外部空間が有効に利用できます。

##### (2) 配置案②

利用頻度が高く、利用者が多い多目的ホールを1階に配置することにより、利用者の利便性の向上を図ります。

### 3 各諸室について

諸室については、現在の利用状況や他施設などを参考にワークショップにて検討しました。

各諸室の具体的なイメージは次のとおりです。（室の名称、数及び配置等は変わることがあります）

#### （1）ロビー

- ・ 掲示板や作品等展示スペースを設ける。
- ・ 休憩、打合せなどができるスペースを設ける。

#### （2）事務室

- ・ 利用者がわかりやすいよう、入口付近に配置する。
- ・ 入館者の確認や声掛けがしやすいよう、受付窓口を大きくとる。

#### （3）多目的ホール

- ・ 机、椅子等を収納するスペースを確保する。
- ・ 可動式舞台を設置する。
- ・ 間仕切りにより2分割でき、それぞれ会議室等として利用可能とする。

#### （4）会議室

- ・ 大きさの異なる室を複数室設置する。
- ・ 間仕切りにより分割のできる仕様とする。

#### （5）工作室

- ・ 手洗い場を設置する。
- ・ 会議室としても利用できる机や椅子を設置する。

#### （6）音楽室

- ・ 内装、建具等を音楽活動を想定した仕様とする。
- ・ 会議室としても利用できる机や椅子を設置する。

#### （7）調理室

- ・ アイランド方式で、会議室としても使用できるような調理台を設置する。
- ・ ガス調理機とする。

#### （8）和室

- 茶室としての利用ができる空間とする。
- 着付け教室等ができるよう、姿見を設置する。

(9) 図書室（図書スペース）

- 明るく開放的で、見通しの良い空間とする。
- 落ち着いて読書、勉強ができる空間とする。

# 建設地案内図

船越老人  
福祉センター

西矢部公園

N

建設地

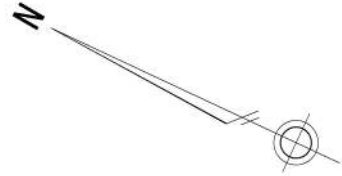
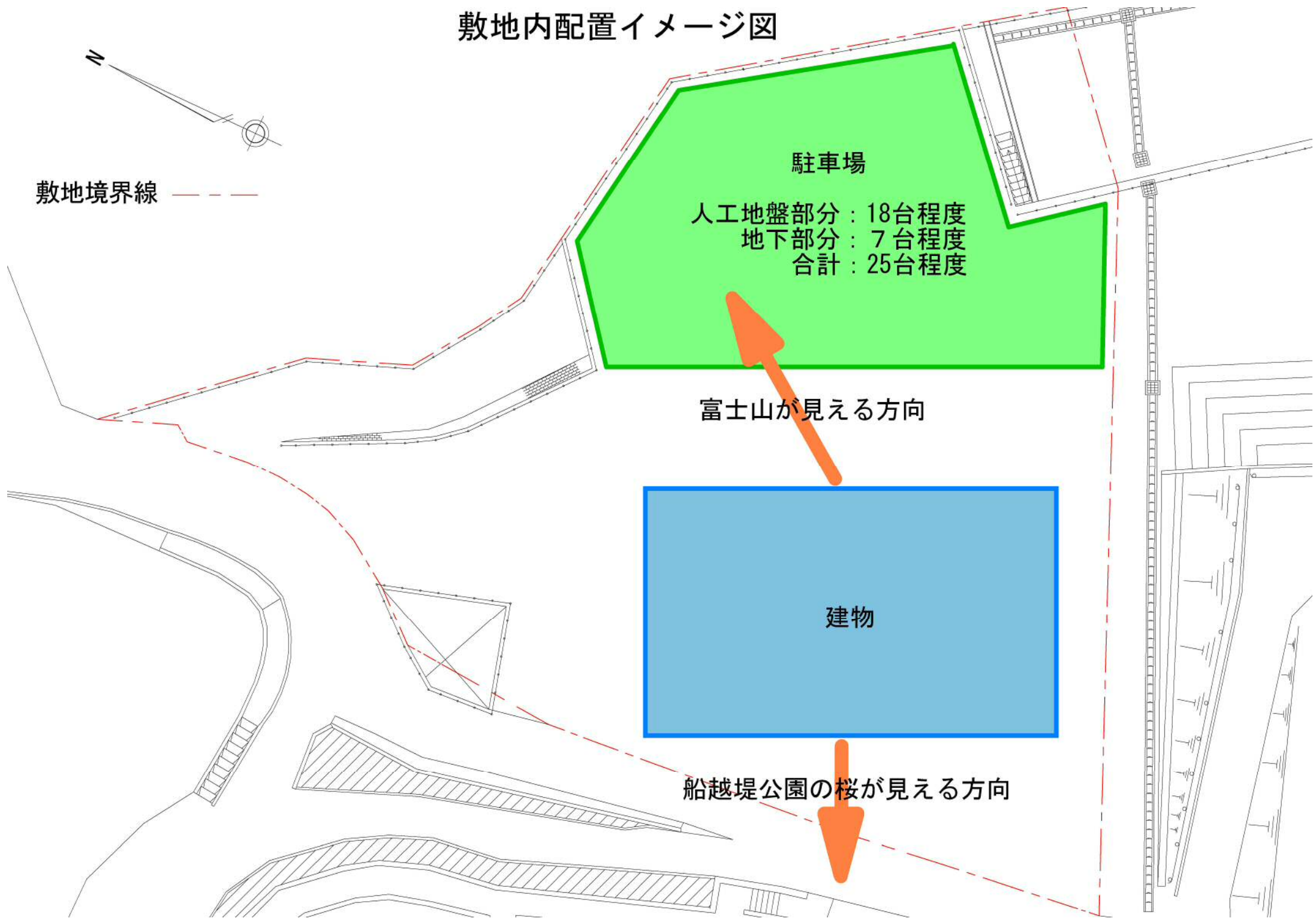
船越生涯  
学習交流館

夫池

船越堤公園



# 敷地内配置イメージ図



敷地境界線

駐車場

人工地盤部分：18台程度  
地下部分：7台程度  
合計：25台程度

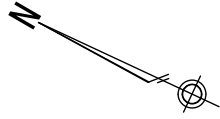
富士山が見える方向

建物

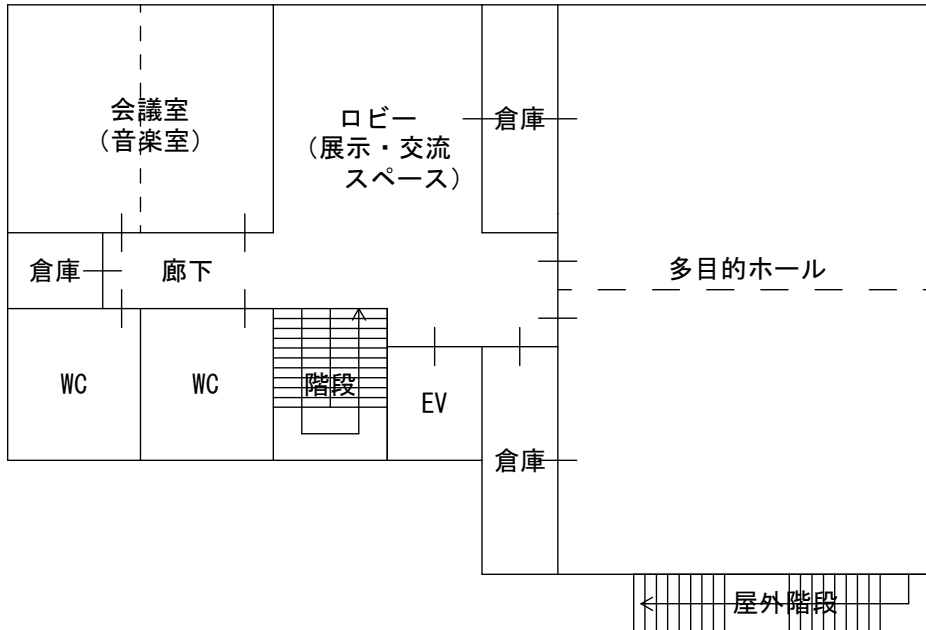
船越堤公園の桜が見える方向

# 館内配置イメージ図

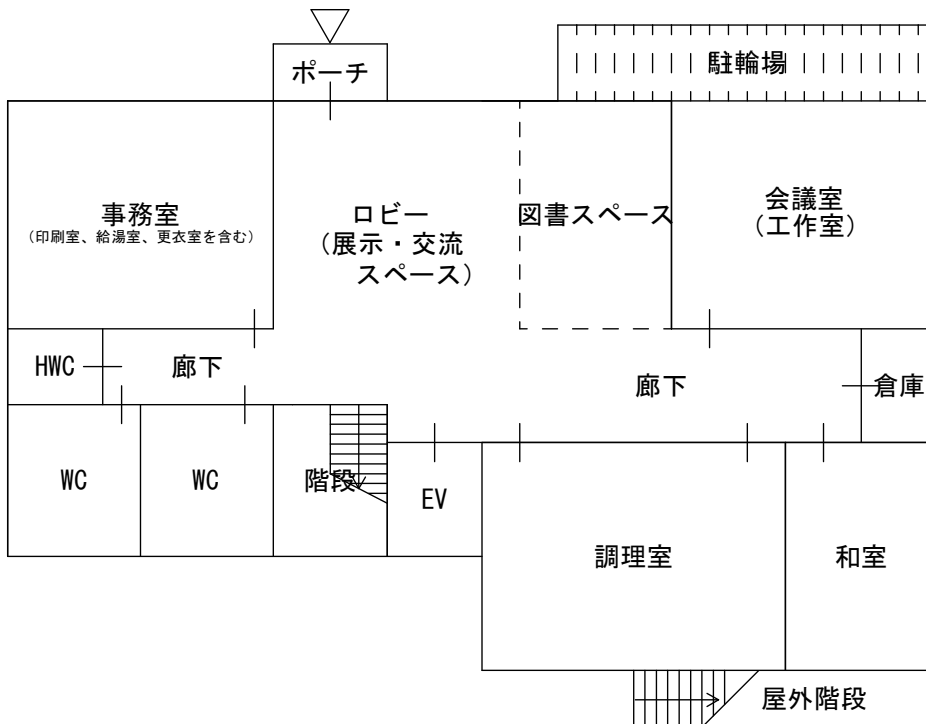
## 配置案①



1階床面積：約330m<sup>2</sup>  
2階床面積：約330m<sup>2</sup>  
延べ床面積：約660m<sup>2</sup>



2階平面図 S=1/200

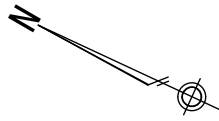


1階平面図 S=1/200

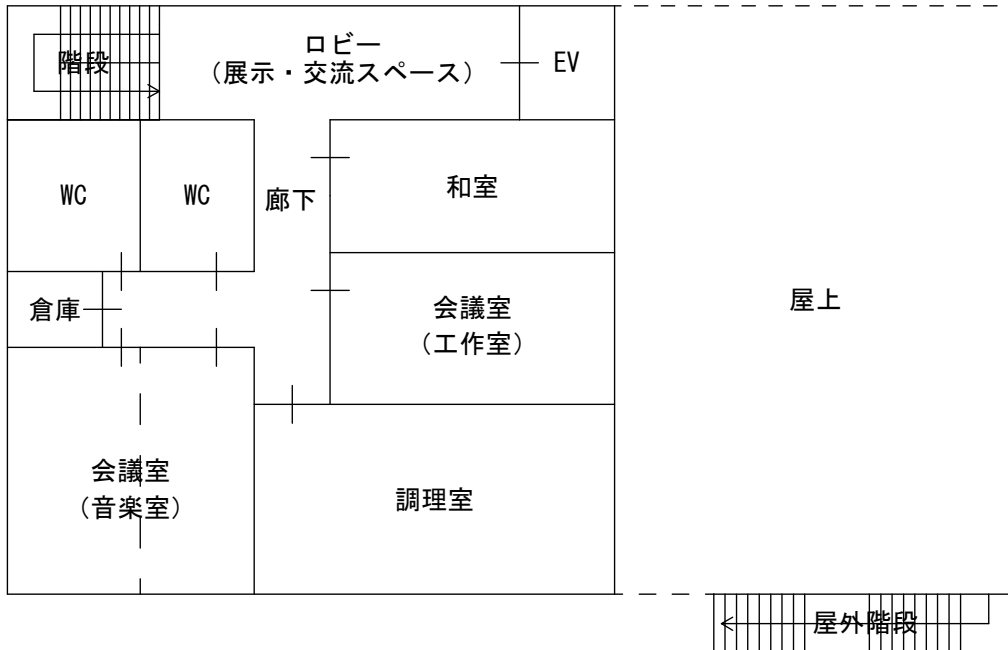


# 館内配置イメージ図

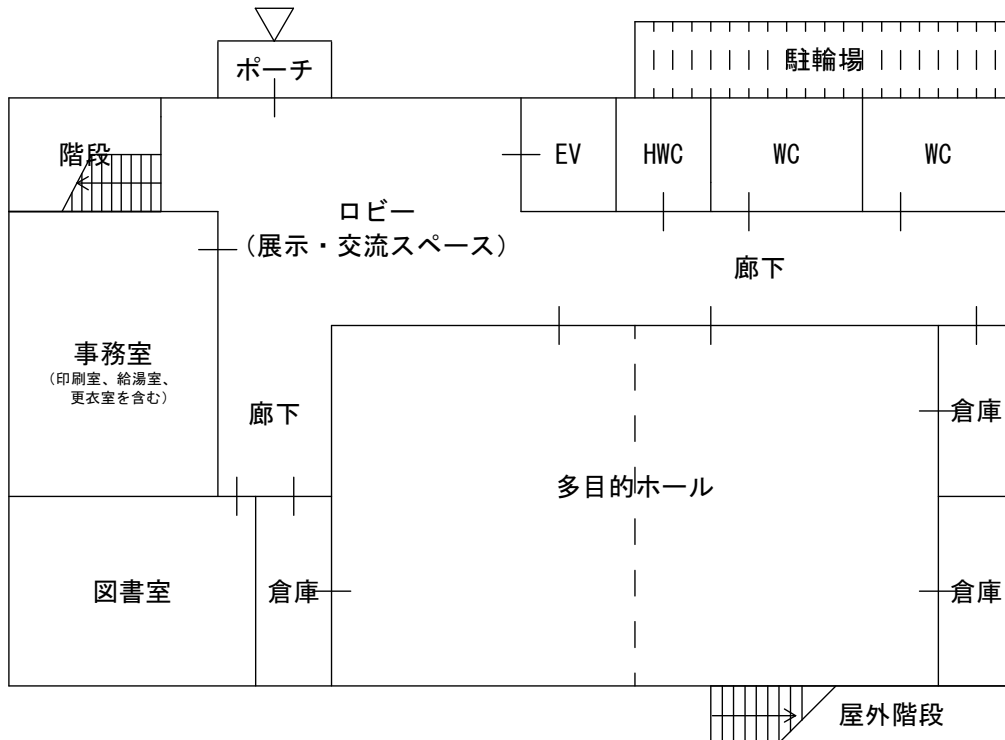
## 配置案②



1階床面積：約410m<sup>2</sup>  
2階床面積：約250m<sup>2</sup>  
延べ床面積：約660m<sup>2</sup>



2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200